

愛人入籍「JOC竹田会長

詐欺師親子!と告発された



特集 北京五輪直前

北京五輪は大丈夫?

8月8日の開幕までいよいよ残り2カ月を切った北京五輪。JOC（日本オリンピック委員会）の竹田恆和会長（60）もさぞやご多忙だろう。が、そこに加えて、何とも厄介な問題が勃発した。会長と長男に対して「詐欺師親子」という告発が飛び出したのだ。

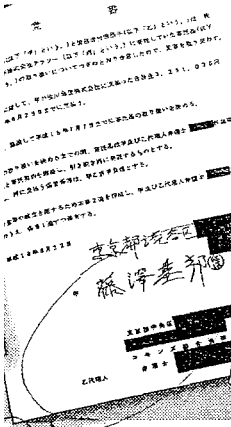
ご存じの通り、竹田家といえど、戦後に皇籍離脱するまではレッキとした宮家だった家柄。竹田会長は明治天皇の曾孫にあたり、かつては馬術の日本代表としてオリンピックに出場した経験もあるだけに、海外でも「プリンス・タケダ」の愛称で有名だ。

その子息・恒泰氏（32）は、皇位継承問題で女系天皇容認論に積極的に反対を唱えるなど、旧皇族という立場から皇室関係の評論活動を行なう論客として知られている。そんな親子をつかまえて、コトもあらうに「これじゃあ詐欺師みたいなものじゃないですか」と尋常ならざる告発をするのは、国際交流のナメのNPO法人「フオーラム・パートナーズ」理事の磯澤基邦氏である。

「皇室に連なる方が困っていると言われ、それならばと思ってお助けしたんです。でも、結果的に騙されたようなもの。お金も返しても

らいたいし、あまりにも腹立たしいので告発しようと思ったのです」と、事の経緯をこう説明する。

「キツカケは、平成16年5月ころ、知り合いの不動産業者から、竹田会長の奥様である昌子さん、そしてそのお母さんである松見郁さんを紹介されたことでした。竹田家の大切な品々を事情があつて佐川急便の貸し倉庫に保管してあるけれど、お金がなくてその保管料をずっと滞納していたんです。総額で325万円ほど。それで佐川急便が東京地裁に競売を申し立てたため、何



とかお金を立て替えてくれないかという相談でした」

その品々とは、昌子さんのネームが入った高級陶磁器マイセンの食器類、竹田会長が馬術競技で受賞した

トロフィーや馬術で使用した年代モノの鞍、茶器や壺などの美術品だったという。「早速お金を立て替え、佐川急便の弁護士とも協議して競売の申し立てを取り下げてもらい、とりあえず私

が別の貸し倉庫に保管することにしました。もちろんその保管料も私持ちです。立て替えた分さえ返しても

らえたら、すぐに品物はお戻しする約束でした。私としては、万が一、返済してもらえなくても、売却すれば元は取れるだろうという

計算があつたのも確かです。だって、全部で3000万円くらいの価値があるという話でしたから」

最終的な協議の際は松見郁さん(87)、昌子さん(61)、そして子息の恒泰氏も同席していたそうだが、その後、請求してもお金は返済されない。返済の念書も取り交わしたが

数々の証拠書類もあつて……

履行されない。恒泰氏に連絡を取るべく、講師を務める慶応大学や顧問だという

会社、著書を出版している出版社などに電話しても本人が出てこない。仕方がないので竹田会長に直訴しよう

とJOCにも押しかけたが、相手にされない。結局、今に至るまで325万円は返済されず、その後の保管

直筆の署名と押印

実際、藤澤氏の手許にある書類を検分すると、主張にはそれなりの根拠がある。例えば、佐川急便が東京

地裁に申し立てた競売に関して地裁が発行した公示書には、確かに債務者として

竹田恒泰氏の名が記載されている。また、立て替えによつて申し立てを取り下げた後、佐川急便側の代理人

弁護士に対し、荷物をすべて藤澤氏に引き渡すよう指示した書面にも、恒泰氏が

直筆で署名、押印してある。さらに、藤澤氏と昌子さんの代理人弁護士との間で交わした返済の覚書や、返済を

料や運び出す費用なども加えると、総額500万円以上は負担したことになる。しかも、止む無く売却しよう

と鑑定人に見てもらったところ、全部売ってもせいぜい100万円程度の価値

だと言われて売却も断念。これじゃあ「詐欺師親子」じゃないか——というのが、藤澤氏の主張なのである。

の念書も存在するのだ。

ただし、当初のやり取りでは、竹田会長自身がかま

たかかわっていないことも確か。しかも、実は、竹田会長は当時、すでに極秘

のうちに昌子さんと離婚していたのである。それだけに、「確かに藤澤さんが立替弁

済してくれたら、債務者が恒泰さんであることも事実。しかし、竹田会長にその返済を請求するのは、法的に

は無理があるでしょう。こちらの印象としては、話を主導していたのは松見さんで、昌子さんと恒泰さんは言う通りに動いていたとい

う感じ。一番悪いのは松見さんじゃないですかね」

なんて指摘も出てくるのだが、無論、藤澤氏の怒りは収まらない。

「そもそも離婚自体知りませんでした。別居する際に狭い新居に置けなかったから預けていたとのことでした。それに、中には竹田会長自身のトロフィーや馬術

の鞍などもあるし、息子さん

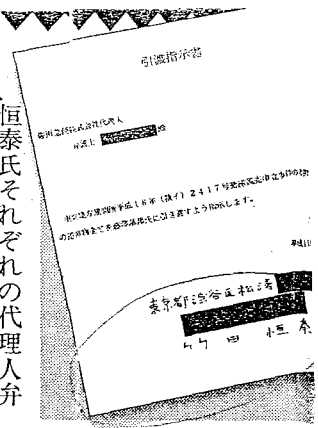
が債務者になっているのだから、3人でラチがあかない以上、竹田会長に返済してもらうしかないと思つたのです。規に、3年ほど前に竹田会長と電話で話を

した時は、何とか対処すると言っていたのですから」

その点については、竹田会長と親しい知人も、「私もその品々を倉庫に見に行きました。当初は自分

が何とかする」と言っていたのも事実だから、会長の対応も悪かつたんじゃないかと思えます。もっと当事者同士で内々に処理でき

なかつたんですかねえ」と苦言を呈するが、結局、今年2月から3月にかけて、藤澤氏のもとに竹田会長、



「お金がないですから」

恒泰氏それぞれの代理人弁護士から、相次いで内容証明郵便が届く。「両方とも、とにかく自分

さて、では当事者たちの言い分だが、まずは恒泰氏。「倉庫のことで母や祖母がトランプを抱えていることは、2人からリアルタイムで聞いていました。でも、私自身はまったく関係していない。第一、私はその藤澤という人とは会ったこともないし、何らかの書類に署名も押印もしたことがない。竹田に金を貸している」といのはまったくの偽計ですから、刑事告訴すると通告したまでです」と完全に否定するのだが、前述した通り、現に裁判所の公示書では債務者として認定されているし、自署の文書もある。その文書を見

たは一切関係がないという内容でした。とくに恒泰氏の方はより酷くて、債務の話自体が虚偽だと決め付け、私が関係各所に執拗に連絡を取り続けていることは業務妨害で名誉毀損だから、謝罪しないと刑事告訴と多額の損害賠償請求まですると書いてありました」

には何の責任も関係もありません。息子に聞いても何も知らないと言っから、私は息子を信じます。藤澤さんが何と言おうと、息子がいけないと言っていることを父親の私が解決すべきじゃないでしょう」

結局、親子ともども無関係を強調するのみ。が、もう1人の当事者、松見郁さんは、逆に竹田会長の「責任」をこう追及するのだ。「竹田という男は、JOC会長の資格などない男です。だいたい、藤澤という人に預けた荷物は竹田家の思い出の品々なんです。恒泰たち3人の子供の小さい頃のアルバムや玩具なども一杯ある。つまり、あれは竹田の物でもあるのです。それなのに、会長として高額の収入がありながらたかだか300万円くらい払えないなんて、JOC会長の所業ではありませんよ。そもそもあの男は、昌子と一緒に酒を飲んで別れた頃から酒を飲んでは別の女性とラブホテル通いする酷い男でした。心痛のあまり、昌子は一時、入院したこともあるんです。住んでいた

家も私が建ててあげたのに、家賃は一銭だつて払ったことない。あの男は私に大変な恩義と借金があるんですよ。何で300万円くらい払えないんですか。そんな男が今後も会長であり続けるなんて、私は死んでも死にきれないです」

実際、竹田会長の知人いわく、自分の会社の秘書的

女性とねんごろになったことも離婚の原因。その「愛人」とは最近入籍したという。で、松見さんだが、肝心の「ご自身の責任については、そういうえば念書も書きました。が、当時はどうしてもお金がなくて。でも、ようやく苦労してお金を用意したら、今度は藤澤さんに連絡

と、松見さんだが、肝心の「ご自身の責任については、そういうえば念書も書きました。が、当時はどうしてもお金がなくて。でも、ようやく苦労してお金を用意したら、今度は藤澤さんに連絡

肝臓の疲れに...

【医薬品】

●疲労をとろう!
●元気になろう!

漢方と洋薬の
ダブル新処方薬!

1000錠
生薬 川柳配合

ネオバリン錠

◆全国有名薬局・薬店にあり「ネオバリン錠」とご指定下さい。
◆薬局品初時は薬価(税込)を同封の上直接お申込み下さい。(送料無料)
◆この医薬品は「使用上の注意」をよく読んで正しくお使い下さい。

ハラサワ製薬工業株式会社 新潮係
〒108-0074 東京都港区高輪 3-19-17 ☎03(3441)5191(大代)
郵便局振替口座 00130-1-8052 ホームページ http://www.harasawa.co.jp

ケイゴ